◎安全保障協議委員会の構成の変更に関する日本国政府とアメリカ合衆国

政府との間の交換公文

(略称)米国との安全保障協議委員会の構成変更に関する取極

米国側書簡	2 構	l 委	日本側書簡	E				
	構成員の代理	委員会の構成		次				
	理	成						
						平成	平成	平成
						三年 二月	二年十二月二十六日	二年十二月二十六日 東京で
						四日	二十六日	二十六日
二八九六	二八九四	二八九四	二八九三	ページ	(外務省告示第五四号)	告示	効力発生	東京で

安 ブ 全保 障協 議 委員 会 の 構 成 の変更に 関 いする \Box 本 国 政府と

メリ 力 合衆国政 (府との 間 の交換公文

 \exists 一本側 簡

二訳 文

を設 書簡 側 外 障 n り使用することができ、 + 램 に貢献するような問 に役立ち及び安全保障の分野に 委員会 全保障条約 効力を生じ に関連するも 以 題に の 議 大臣 議 は 下 日にワシント 置することを規定して 簡をもって啓上 委員 関 の設置 往 たる日 する同大使の の \Box ほ 会 米 復 た日本 (以下「日米安保条約」 書簡 か 安保条約の に関する千九百六十 1本国 構 防 のを検討することもできる安全保 E 衛庁長 成 ンで署名され、 とい 駐 を、 とアメリカ合 いたします。 題で安全保障 在合衆国大使のほ 首席顧問たる太平洋軍司令官とすること 官 諸 ま う。)に言及する光栄を有しま \Box しとし 本側に た、 います。 規定に基づく協議 両政府 お お 問 衆国 ける両国間 年一月十九日付 千九百六十年六月二十三日 本大臣は、 合衆国側に 題 という。)及び Į١ 往復書簡は、 間のの との ては、 の基盤 か軍 理 間 日本 を成 の協 解 千九百六十年 事上及び防 おいては、 0 0) いために 相 を促進 し、 . 側 また、 力関 け 安全保障 互 障協議 協 を主 0 らす。 力及 係 往 か するこ 時 委員 の強 復書 衛 宰 合 つ、 宜 安全保 - する 協 上の 衆国 12 往 Ű 一月 化 ٤ ょ 議 会 復 簡 安 に

(Japanese Note)

Tokyo, December 26,

Excellency,

States side, the United States Ambassador of the Defense Agency, and on the United on the Japanese side, and the Director General Minister for Foreign Affairs, who will preside Committee will be, on the Japanese side, the membership of the Security Consultative The Exchange of Letters also provides that strengthening of cooperative relations between serve to promote understanding between and related to security affairs which would could also consider any matters underlying for consultations based established which could Security Consultative Committee will be The Exchange of Letters provides that the referred to as "the Exchange of Letters"). Security Consultative Committee (hereinafter January 19, 1960 for the Establishment of the Treaty"), and the Exchange of Letters of referred to as "the Japan-U.S. Security into force on June 23, 1960 (hereinafter Washington on January 19, 1960 and entered and the United States of America, signed at Mutual Cooperation and Security between Japan the two countries in the field of security. the two Governments and contribute to the the Japan-U.S. Security Treaty, and, which I have the honor to refer to the Treaty of who will serve as Chairman upon the provisions of as appropriate be used the

定してい

・ます

代 構 選 員の

> 協議 代わって提案する光栄を有します。 を 一層強化 本 大臣 委員会 は、 の す 構成を次 ることに対する 安全保障 に関する広 のとおり変更することを、 両政府 V の 範 希望に 囲 の問 留意 題につい Н Ļ 本国政 安全保 ての協 府 障 に 議

1 |防長官とする。 一及び防衛庁長官とし 安 全保障協議委員 会の 構成は、 合衆国 側 \Box に |本側においては、 おいては、 玉 務長官及び 外務 大

構 黄 員 会 の

2 として指 の 属する政 安全保 (障協 名 府 することが 議委員 の 適当な高 会の できる。 *ا*را 構成員 L ベル は、 の 必要に応じ、 者 を、 当該 構 当該 成 員 構 0) 代 成 理 員 2

は 成に関 ない 本大臣 ことを するも は、 確 0) 前 記1 認しま を除くほか 及び2 らす。 の規定は、 往復書 簡 の内容を変更するもの 安全保障 協 議 委員 会 0 ァ 構

得るも に が 両 本 力 政 大大臣 府 を σ 生ず であ は、 間 の るも 合意 るときは、 前 記 を構 のとすることを 0) 提 成 案 ح ハがア Ų あ その ゙メリ 書 簡 提 合 及 力合衆 案す 記意が び受諾する旨 閣 国 る光栄を 下の 政 府 返簡 にとっ 有 の の 閣 U ŧ B F て受諾 す。 付 の め 返 \exists 簡 L

か · つ 本 大臣 7 敬 意を表 は、 以 Ĺ ĺ ます 一を申 U 進 め るに際 し、 ここに重 ねて 閣下に

United States side, and the Commander-in-Chief, Pacific, who will be the Ambassador's principal advisor on military and defense matters.

Taking note of the desire of the two Governments to further strengthen consultations on a broad range of security matters, I have the honor to propose, on behalf of the Government of Japan, that the membership of the Security Consultative Committee be changed as follows:

- The membership of the Security Consultative Commuittee will be, on the Japanese side, the Minister for Foreign Affairs and the Director General of the Defense Agency, and on the United States side, the Secretary of State and the Secretary of Defense.
- Each member of the Security Consultative Committee may designate, as necessary, an appropriate high-level official of his/her Government as his/her alternate.

I wish to confirm that the provisions of paragraphs 1 and 2 above will not change the contents of the Exchange of Letters except those concerning the membership of the Security Consultative Committee.

I have the honor to propose that, if the above proposal is acceptable to the Government of the United States of America, the present note and Your Excellency's reply of acceptance shall constitute an agreement between the two Governments which shall enter into force on the date of Your Excellency's reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

向

日本国外務大臣 中山太郎

(Signed) Taro Nakayama Minister for Foreign Affairs of Japan

アメリカ合衆国

特命全権大使

マイケル・H・アマコスト 閣下

His Excellency
Michael H. Armacost
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of
the United States of America

米国との安全保障協議委員会の構成変更に関する取極

(U.S. Note

Tokyo, December 26, 1990

(米国側書簡

(訳文)

とを確認する光栄を有します。の構成の変更に関する本日付けの閣下の次の書簡を受領したこ書簡をもって啓上いたします。本使は、安全保障協議委員会

(日本側書簡)

栄を有します。 0) るものであることを同 の書簡 返簡 本使は、 の日付の 及びこ 前 の 記 日に 返 の提案がアメリカ 簡 効 が 政府 力を生ずるものとすることに同意する光 両 政 元に代 府間の わ 合 合意を構成し、 って確認するとともに、 衆国政府にとって受諾し得 その合意がこ 閣下

千九百九十年十二月二十六日に東京でって敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

アメリカ合衆国

特命全権大使 マイケル・H・アマコスト

日本国外務大臣 中山太郎閣下

Excellency,

I have the honor to acknowledge the receipt of your Excellency's note of today's date concerning the change of membership of the Security Consultative Committee which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have the honor to confirm on behalf of the Government of the United States of America that the above proposal is acceptable to the Government of the United States of America and to agree that Your Excellency's note and this reply shall constitute an agreement between the two Governments which shall enter into force on the date of this reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of
the United States of America
lency
/ama
for Foreign Affairs

(Signed)

Michael H. Armacost

His Excellency Taro Nakayama Minister for Foreign Affairs of Japan

る。

行条約集覧及び条約集第一四一六号参照)に規定された安全保障委員会の構成を変更するものであ この取極は、昭和三十五年一月十九日付けの米国との安全保障委員会の設置に関する往復書簡(現

米国との安全保障協議委員会の構成変更に関する取極